若松区医師会訪問看護ステーション運営規程

(事業の目的)

第1条 一般社団法人北九州市若松区医師会が開設する若松区医師会訪問看護ステーション（以下「ステーション」という。）が行う介護保険法、後期高齢者医療制度（長寿医療）及び健康保険法に規定される指定訪問看護事業及び指定介護予防訪問看護事業（以下「事業」という。）の適正な運営を確保する為に人員及び管理運営に関する事業を定めるものとする。

この事業はステーションの看護師その他の従事者（以下「看護師等」という。）が、介護保険法における要介護状態又は要支援状態にある者又は疾病、負傷等により、居宅において継続して療養を受ける状態にある者であつて、かかりつけの医師（以下「主治医」という。）が、指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護の必要性を認めた高齢者等（以下「利用者」という。）に対し、適切な訪問看護を提供することを目的とする。

(事業の運営方針)

第2条 事業にあたる看護師等は、利用者の心身の特性を踏まえて、全体的な日常生活動作の維持、回復を図ると共に、生活の質の向上を重視した在宅療養生活が継続できるように適切な事業の提供を行う。

2. 事業の提供に当たっては、懇切丁寧に行い、利用者又はその家族に対し事業の提供方法等について、理解しやすい様に説明を行い、書面により同意の確認を行う。

3. 事業の実施に当たっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。

(事業者の名称等)

第3条 事業を行う事務所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

1. 名称 若松区医師会訪問看護ステーション
2. 所在地 北九州市若松区藤ノ木二丁目1番29号

(職員の職種、員数及び職務内容)

第4条 ステーションに勤務する者の職種、員数及び職務内容は次のとおりとする。

1. 管理者 保健師又は看護師 1名

管理者はステーションの従業員の管理及び指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護の利用の申込みに係る調整、主治医との連携・調整、居宅介護支援事業者との連携・調整、業務実施状況の把握、その他の管理を一元的に行う。

2. 看護職員：保健師、看護師又は准看護師

員数は常勤換算方法で2.5人以上とし、1名は常勤とする。

看護師等は訪問看護計画書及び介護予防訪問看護計画書を作成の上、訪問看護及び介護予防訪問看護を実施し、実施内容を記録、管理者に報告する。

毎月1回、訪問看護報告書及び介護予防訪問看護報告書を作成し、主治医に報告する。

3. 事務職員 1名

必要な事務を行う。

(営業日及び営業時間)

第5条 ステーションの営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

1. 営業日 月曜日から土曜日までとする。但し、国民の祝日、8月13日から8月15日、12月29日から1月3日までを除く。
2. 営業時間 平日は午前9時から午後5時までとする。
土曜日は午前9時から12時までとする。
但し、営業時間外については必要に応じ対応する。
3. 電話により、24時間常時連絡可能な体制とし、必要時には訪問する。

(訪問看護及び介護予防訪問看護の内容)

第6条 ステーションが行う指定訪問看護及び介護予防訪問看護の内容は、次のとおりとする。

1. 病状・障害の観察
2. 清拭・洗髪・入浴介助等による清潔の保持
3. 褥瘡の予防・処置
4. リハビリテーション
5. ターミナルケア
6. 認知症患者の看護
7. 利用者や家族に対する療養生活や看護方法の相談、指導
8. カテーテル等の管理、指導
9. 医師の指示による医療処置
10. その他、療養上の世話

(利用料等)

第7条 指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護を提供した場合の利用料及び徴収方法は、次のとおりとする。

1. 介護保険法における要介護者等に対して指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護を提供した場合の利用料は厚生労働大臣が定める基準（介護報酬告示）によるものとし、当該指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護が法

定代理受領サービスである時は、利用料のうち各利用者の負担割合に応じた額の支払いを受けるものとする。

(☆介護報酬告示は事業所の見やすい場所に掲示することとする。)

2. 後期高齢者医療制度（長寿医療）・医療保険各法による指定訪問看護及び指定介護予防訪問看護を提供した場合の利用料は厚生労働大臣が定める基準によるものとし、基本利用料及びその他の利用料とする。

(ア) 基本利用料（1回の訪問看護につき）

各種健康保険が定める患者の負担割合による。

(イ) その他の利用料（医療保険対象者及び介護保険適用外）

①規定時間（2時間）を超える訪問看護料 30分毎に500円

②営業日以外の訪問看護料 1回毎に1000円

ただし、特別訪問看護指示書での訪問の場合加算金は発生しない。

③交通費

（医療保険及び介護保険適用外の場合は交通費の負担あり）

④エンゼルケア（臨終の際の処置） 10,000円

(ウ) 療養生活上必要な物品は実費負担とする。

3. 前二項の料金の受領方法については、利用者又はその家族に対し事前に文書で説明し、文書に署名（記名捺印）を受ける。又、受領に際し、明細を記載した領収書の発行を行なう。

4. 利用料金については、別紙利用料金表を掲示する。

(通常の事業の実施地域)

第8条 通常の事業の実施地域は、北九州市内の区域とする。

(緊急時における対応方法)

第9条 看護師等は訪問看護及び介護予防訪問看護を実施中に、利用者の病状の急変、その他緊急事態が生じた時は、応急の手当を行なうと共に、速やかに主治医に連絡し、指示による処置を行なう。

2. 看護師等は、前項について、しかるべき処置をした場合は、速やかに管理者及び主治医に報告しなければならない。

(事故発生時における対応方法)

第10条 ステーションは、利用者に対する訪問看護等の提供により事故が発生した場合は、速やかに市町村、利用者の家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じる。

2. 前項の事故の状況及び事故に際してとった処置について記録する。

3. 利用者に賠償すべき事故が発生した場合は、速やかに損害賠償を行う。

(苦情に対する対応方法)

第11条 ステーションは、自らが提供したサービスに係る利用者及びその

家族からの苦情に迅速かつ適切に対応するために必要な措置を講じるとともに、当該苦情の内容等を記録する。

2. ステーションは、自らが提供したサービスに関し、介護保険法の規定により市町村が行う文書その他の物件の提出若しくは提示の求め又は当該市町村の職員からの質問若しくは照会に応じ、及び利用者からの苦情に関して市町村が行う調査に協力するとともに、市町村から指導又は助言を受けた場合においては、当該指導又は助言に従って行う。

(個人情報保護)

第12条 利用者又はその家族の個人情報について「個人情報の保護に関する法律」及び厚生労働省が作成した「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」を遵守し適切な取扱いに努めるものとする。

2. ステーションが得た利用者又はその家族の個人情報については、ステーションでの介護サービスの提供以外の目的では原則的に利用しないものとし、外部への情報提供については必要に応じて利用者又はその家族の同意を得るものとする。

(虐待防止)

第13条 ステーションは、虐待の発生又はその再発を防止するため、次の措置を講じる。

1. 虐待防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。）を定期的開催するとともに、その結果について看護師等に周知徹底を図る。
 2. 虐待防止のための指針を整備する。
 3. 看護師等に対し、虐待の防止のための研修を定期的実施する。
 4. 前3号に掲げる措置を適切に実施するための担当者を置く。
2. ステーションは、サービス提供中に、当該ステーション看護師等又は養護者（利用者の家族等高齢者を現に養護する者）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに、これを市町村に通報するものとする。

(業務継続計画の策定)

第14条 ステーションは、感染症や非常災害の発生時において、利用者に対する指定訪問看護等の提供を継続的に実施するための、及び非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画（以下「業務継続計画」という。）を策定し、当該業務継続計画に従い必要な措置を講じる。

2. ステーションは、看護師等に対し業務継続計画について説明、周知するとともに必要な研修及び訓練を定期的実施するものとする。
3. ステーションは、定期的業務継続計画の見直しを行い、必要に応じて業務継続計画の変更を行うものとする。

(感染症対策)

第15条 ステーションは、ステーションにおいて感染症が発生し、又はまん延しないように、次の措置を講じる。

1. ステーションにおける感染症の予防及びまん延防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする）をおおむね6月に1回以上開催するとともに、その結果について看護師等に周知徹底を図る。
2. ステーションにおける感染症の予防及びまん延防止のための指針を整備する。
3. ステーションにおいて、看護師等に対し、感染症の予防及びまん延防止のための研修及び訓練を定期的実施する。

(その他の運営についての留意事項)

第16条 訪問看護ステーションは、看護師等の質的向上を図る為の研修の機会を次の通り設けるものとし、また業務態勢を整備する。

- ①採用時研修 採用後1ヶ月以内
- ②継続研修 年12回以上
2. 従業者は、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を守る義務を有する。
3. 従業者であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持する為、従業者でなくなった後においてもこれらの秘密を守るべき旨を、従業者との雇用契約内容に記載する。
4. この規程に定める事項の他、関係各法令の規定を遵守することとする。又、運営に関する重要事項は一般社団法人北九州若松区医師会の理事会に於いての協議に基づいて定めるものとする。

附則 この規程は、平成5年5月1日から施行する。

1. 平成12年4月1日改定
2. 平成18年4月1日改定
3. 平成20年4月1日改定
4. 平成20年5月1日改定
5. 平成26年4月1日改定
6. 平成28年10月1日改定
7. 平成31年2月1日改定
8. 令和1年7月11日改定
9. 令和6年6月1日改定
10. 令和7年2月1日改定